

動物飼育実習Ⅳ					
科目名					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、個体ごとに適切な食事や環境を提供できるようにする 2、個体別に合わせた犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようにする 3、個体別に合わせた猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を学び、行えるようになる 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようにする（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようにする）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
2	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
3	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
4	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
5	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
6	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
7	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
8	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
9	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
10	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
11	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
12	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
13	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
14	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
15	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
16	前期期末試験		Web試験を予定、身だしなみや授業態度も含み評価		
17	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
18	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
19	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
20	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
21	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
22	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
23	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
24	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
25	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
26	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
27	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
28	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
29	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
30	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
31	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
32	後期期末試験		Web試験を予定、身だしなみや授業態度も含み評価		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物種ごとだけでなく個性を持ち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるように働きかける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	就職実務Ⅳ				
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	×	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップの振り返り				
2	インターンシップの振り返り 発表				
3	就職活動の流れ、必要書類作成について		<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新 		
4	求人検索の方法、求人票の見方		<ul style="list-style-type: none"> ・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る 		
5	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備		<ul style="list-style-type: none"> ・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る 		
6	面接のマナー、面接の形式				
7	面接のマナー、面接の形式				
8	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」				
9	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」				
10	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す				
11	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す				
12	ディスカッションの基礎、筆記試験対策				
13	ディスカッションの基礎、筆記試験対策				
14	実習日誌の作成 これまでの振り返り				
15	実習日誌の作成				
16	著中見舞い、年賀状の書き方		プリント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけでなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。		
実務経験教員の経歴					

科目名	グルーミング実習Ⅲ				
担当教員	山田 佳枝、ワンダブル		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	17	時間数	512
授業概要、目的、 授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	サロントリマー2級の取得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミング実習(実践) シーズー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
2	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
3	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
4	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
5	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
6	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
7	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
8	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
9	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
10	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
11	グルーミング実習(実践) シーズー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
12	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
13	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
14	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
15	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
16	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
17	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
18	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
19	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
20	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
21	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
22	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
23	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
24	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
25	グルーミング実習(実践) ブードル		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
26	グルーミング実習(実践) マルチーズ		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
27	グルーミング実習(実践) シュнауザー		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
28	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト①		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
29	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト②		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
30	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト③		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
31	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト④		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
32	期末試験		100分で、犬種に応じたベットクリップを行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	企業へ委託				

科目名		開講時期	
担当教員	野山 恭子(教、看護教員)	本学授業の授業	○
学修目標	知識・技能・態度・キャリア形成	履修単位数	2
単元・単行	必修	開講年	12
		開講期	154
授業概要、目的、	3h、2h、3hで履修した内容の復習、 過去問等の学習による知識の定着、 対応策で実施。		
授業の進め方			
学習目標 (卒業目標)	専門知識・技能に活用することができる		
テキスト・教材・参考文献	エデュワード・ブックス 看護学 看護学 看護学		
授業	授業項目・内容	学習方法・準備学習・後援	
1	看護学概論～看護の正しい認識の作りか	教科書を1冊読むこと	
2	看護学概論	教科書読後の問題	
3	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
4	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
5	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
6	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
7	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
8	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
9	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
10	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
11	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
12	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
13	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
14	看護学概論	これまでの2年間履修した内容の復習	
15	看護学概論～看護学概論	教科書読後の問題	
16	看護学概論	教科書読後の問題	
17	看護学概論	教科書読後の問題	
18	看護学概論	27h	
19	看護学概論	27h	
20	看護学概論	27h	
21	看護学概論	27h	
22	看護学概論	27h	
23	看護学概論	27h	
24	看護学概論	27h	
25	看護学概論	27h	
26	看護学概論	27h	
27	看護学概論	27h	
28	看護学概論	27h	
29	看護学概論	27h	
30	看護学概論	27h	
31	看護学概論	27h	
32	看護学概論	27h	
33	看護学概論	27h	
34	看護学概論	27h	
35	看護学概論	27h	
36	看護学概論	27h	
37	看護学概論	27h	
38	看護学概論	27h	
39	看護学概論	27h	
40	看護学概論	27h	
41	看護学概論	27h	
42	看護学概論	27h	
43	看護学概論	27h	
44	看護学概論	27h	
45	看護学概論	27h	
46	看護学概論	27h	
47	看護学概論	27h	
48	看護学概論	27h	
49	看護学概論	27h	
50	看護学概論	27h	
51	看護学概論	27h	
52	看護学概論	27h	
53	看護学概論	27h	
54	看護学概論	27h	
55	看護学概論	27h	
56	看護学概論	27h	
57	看護学概論	27h	
58	看護学概論	27h	
59	看護学概論	27h	
60	看護学概論	27h	
61	看護学概論	27h	
62	看護学概論	27h	
63	看護学概論	27h	
64	看護学概論	27h	
65	看護学概論	27h	
66	看護学概論	27h	
67	看護学概論	27h	
68	看護学概論	27h	
69	看護学概論	27h	
70	看護学概論	27h	
71	看護学概論	27h	
72	看護学概論	27h	
73	看護学概論	27h	
74	看護学概論	27h	
75	看護学概論	27h	
76	看護学概論	27h	
77	看護学概論	27h	
78	看護学概論	27h	
79	看護学概論	27h	
80	看護学概論	27h	
81	看護学概論	27h	
82	看護学概論	27h	
83	看護学概論	27h	
84	看護学概論	27h	
85	看護学概論	27h	
86	看護学概論	27h	
87	看護学概論	27h	
88	看護学概論	27h	
89	看護学概論	27h	
90	看護学概論	27h	
91	看護学概論	27h	
92	終了	ボーナス授業	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意	
看護学概論は、50%以上(A合格以上)・60%以上(B合格以上)・70%以上(C合格以上)・80%以上(D合格以上)とする。			
実務経験者等の対応		動物病院で動物看護士として9年勤務	

科目名	動物医療コミュニケーション				
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する				
学習目標 (到達目標)	動物病院業務に必要なコミュニケーションの概念を説明できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	クライアントエデュケーション～健康管理のための必要な情報①		パワーポイント資料		
2	クライアントエデュケーション～健康管理のための必要な情報②		パワーポイント資料、外注検査		
3	動物と飼い主が良好な関係を構築する方法		パワーポイント資料		
4	病気の適切な予防法～予防接種、フィラリア予防		パワーポイント資料		
5	病気の適切な予防法～ノミダニ予防、歯科予防		パワーポイント資料		
6	病気の適切な予防法～去勢・不妊手術		パワーポイント資料		
7	在宅看護等におけるコミュニケーション技法について		パワーポイント資料		
8	院内コミュニケーション～インフォームドコンセント		パワーポイント資料		
9	獣医療面接について		パワーポイント資料		
10	チーム獣医療に関するコミュニケーション		パワーポイント資料		
11	院内業務～診療受付、電話対応		パワーポイント資料、実技交えて		
12	院内業務～精算、トラブル対応		パワーポイント資料		
13	物品購入や管理について		パワーポイント資料		
14	ペット保険について		パワーポイント資料		
15	期末試験				
16	フィードバック				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名		動物臨床看護学実習			
担当教員	秋元 彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	修得した知識の実践力を身に付ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する				
2	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物の生活環境が健康に及ぼす影響に着目				
3	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 症状や入院・治療が動物と家族に及ぼす影響に着目				
4	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 看護動物への関わり内容・方法を立案				
5	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物の看護上の問題・ニーズに着目				
6	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護計画の作成				
7	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
8	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
9	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
10	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
11	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
12	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
13	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
14	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
15	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
16	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成				
17	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
18	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
19	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
20	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
21	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
22	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
23	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
24	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
25	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
26	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
27	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
28	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
29	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
30	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
31	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
32	事例を通して動物看護アプローチの個性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	クライアントエデュケーション				
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。				
学習目標 (到達目標)	クライアントエデュケーション、院内コミュニケーション、院内業務を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	クライアントエデュケーション概論 クライアントエデュケーションの目的、クライアントサービス				
2	飼い主が行う健康管理 家庭で行われている健康管理とは				
3	クライアントエデュケーションの実践に向けて 情報のアセスメントとニーズ				
4	クライアントエデュケーション実践 狂犬病予防接種				
5	クライアントエデュケーション実践 混合ワクチン接種（犬）				
6	クライアントエデュケーション実践 混合ワクチン接種（猫）				
7	クライアントエデュケーション実践 フィラリア予防				
8	クライアントエデュケーション実践 ノミ・ダニ予防				
9	クライアントエデュケーション実践 避妊・去勢				
10	クライアントエデュケーション実践 デンタルケア				
11	クライアントエデュケーション実践 減量指導				
12	接遇とホスピタリティ				
13	社会人コミュニケーション能力 受付、診察室でのコミュニケーション				
14	飼い主の心情からクライアントエデュケーションを考える グリーフケア				
15	クライアントエデュケーションまとめ 院内スタッフ教育指導				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				

科目名	動物病院実務				
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物内科看護学実習、動物臨床検査学実習、動物外科看護学実習で履修した内容を復習し技術力を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	動物内科看護学実習、動物臨床検査学実習、動物外科看護学実習の内容の取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	身体検査 バイタルサインの評価		教科書、パワーポイント資料		
2	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理		教科書、パワーポイント資料		
3	血液検査		教科書、パワーポイント資料		
4	身体検査 バイタルサインの評価		教科書、パワーポイント資料		
5	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理		教科書、パワーポイント資料		
6	便検査		教科書、パワーポイント資料		
7	身体検査 バイタルサインの評価		教科書、パワーポイント資料		
8	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理		教科書、パワーポイント資料		
9	尿検査		教科書、パワーポイント資料		
10	身体検査 バイタルサインの評価		教科書、パワーポイント資料		
11	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理		教科書、パワーポイント資料		
12	皮膚検査		教科書、パワーポイント資料		
13	身体検査 バイタルサインの評価		教科書、パワーポイント資料		
14	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理		教科書、パワーポイント資料		
15	総復習		教科書、パワーポイント資料		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			1年次に習得した外科実習を实践する。麻酔管理は命にかかわることとなるため、曖昧な知識のままでは参加が難しい。復習を行い、実践に備えること。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				